

【これまでの課題に対する学校の取組】学習面においては主体的、対話的で深い学びの視点から生徒が考える場面を設定し、考えを交流させるような学習形態の工夫に取り組みました。その他の体験活動や日常生活の決め事等においても生徒が課題を自分事として捉え、主体的に考え、正しく判断し、責任をもって行動するよう指導しました。また話し合い活動等を通して他者の意見を尊重し、互いを認め合いながら、コミュニケーション能力を伸ばし、言葉によって考えや気持ちを適切に表現できる生徒を育成する指導に重点を置いてきました。

(1) 豊かな思考力を持ち、正しい判断ができる人

1 国語に関する調査結果

- | | |
|--------------------|---------------|
| ① 話すこと・聞くこと。 | 69.6% (63.9%) |
| ② 読むこと。 | 78.0% (67.9%) |
| ③ 国語の学習は将来役に立つと思う。 | 89.7% (89.7%) |

表現を工夫して話す力や内容を理解しながら読む力に関する間の正答率は全国平均を上回っていますが、考えが伝わるように書く力に関する間の正答率はやや下回っています。国語の勉強が好きで、その重要性を認識している生徒の割合は全国平均以上です。それが意欲となり成果に結びついてきたと捉えます。

- | | |
|---------|---------------|
| ④ 書くこと。 | 44.8% (46.5%) |
|---------|---------------|

【今後の取組】「国語の勉強が好き」(69.6%)で授業の内容や学習の意義もよく理解しています。思考力、判断力、表現力に関わる「話す」、「聞く」、「読む」力は高まっていますが、「書く」力については課題があります。今後はそれらの力をバランスよく向上させる授業の工夫に取り組んでいきます。

2 数学に関する調査結果

- | | |
|-----------------------|---------------|
| ① 知識・技能。 | 70.0% (59.9%) |
| ② 思考・判断・表現。 | 42.8% (36.2%) |
| ③ 公式やきまりのわけを理解しようとする。 | 79.8% (79.6%) |

知識や技能に関する間の正答率は全国平均を上回っており、今後もさらに伸ばしたい学力です。公式等を記憶するだけでなく成立の根拠を考える学習習慣もあり、思考・判断・表現の力に関する間の正答率も全国平均を上回っています。学習の意義や重要性を認識している生徒の割合は全国平均をやや下回りますが昨年度のポイント(72.0%、83.2%)を上回っています。

- | | |
|--------------------|---------------|
| ④ 数学の学習は将来役に立つと思う。 | 73.9% (76.5%) |
| ⑤ 数学の勉強は大切だと思う。 | 85.0% (86.6%) |

【今後の取組】平均正答率は全国平均を上回っていますが、「授業がわかる」生徒の割合(70.8%)は全国平均をやや下回ってしまいました。「知識・技能」の定着率は高く、それらを活用して、今回の「解き方がわからない時はあきらめずに考える」生徒(69.6%)、「問題を解くときに簡単な方法がないか考える」生徒(67.9%)の割合を指導方法や難易度を工夫し、各々70%以上にし、「考えてわかる」ことで「授業がわかる」と感じる割合の全国平均以上の結果を目指します。

(2) 自主性に富み、責任感あふれる人・心身ともに健康で調和のとれる人

1 生徒質問紙の調査結果

- | | |
|---------------------------|---------------|
| ① 自分には良いところがある。 | 83.4% (78.5%) |
| ② 難しいことでも、失敗を恐れず挑戦する。 | 69.6% (67.1%) |
| ③ 人が困っているときは進んで助ける。 | 91.3% (88.4%) |
| ④ 話し合いで考えを深めたり、広げたりできている。 | 84.2% (78.7%) |
| ⑤ 自分と違う意見について考えるのは楽しい。 | 80.6% (76.9%) |

自己肯定感が高く、自信をもって物事に取り組もうとする生徒の割合は全国平均を上回り概ね良い状況と捉えます。また「人の役に立つ人間になりたいと思う」生徒の割合も高く、良い状況ですが、将来の生き方や地域や社会への関心に結びついていないことが課題であると捉えます。「いじめを否定する」生徒の割合は、ほぼ全国平均と同程度の高い割合で、「困っている人を助ける」生徒の割合も高いことから、人権尊重や他者に対する思いやりの意識もかなり備わっていると考えられます。話し合い活動関連の割合も全国平均を上回り、異なる意見も尊重しながら思考し、より良い結論を導き出すことで、生活を向上させることを肯定的に捉えており、これまでの指導による一定の成果が出ていると考えます。

- | | |
|--------------------------|---------------|
| ⑥ 将来の夢や目標を持っている。 | 59.3% (67.3%) |
| ⑦ 地域や社会をよくするため何をすべきか考える。 | 36.7% (40.7%) |
| ⑧ いじめはどんな理由があってもいけない。 | 94.5% (96.4%) |
| ⑨ 学校に行くのは楽しい。 | 79.4% (82.9%) |
| ⑩ 人の役に立つ人間になりたいと思う。 | 94.4% (95.0%) |

【今後の取組】自ら考え、正しく判断し、責任をもって行動するための活動等を継続し、生徒の力でできることを増やし、自己肯定感や自己有用感を高めて学校生活を充実させます。そうしたことを基盤に体験活動や読書活動をより効果的にを行い、社会や世界に目を向け、「夢や目標を持つ」、「地域や社会に貢献する」生徒の育成に取り組めます。

●教育委員会から：有馬中学校では、生徒が互いを尊重しながら他者への思いやりの心の育成を目指して、一人一人を大切に学年・学級経営に努め、日々の教育活動に取り組んでいます。また授業においても、考えを自由に交流させるような学習形態の工夫から主体的、自主的に取り組む生徒が多くみられました。こうした日々の取組の成果が、学校生活を充実させ、広い視野で目標をもって生きていくことができる生徒の育成につながっています。 宮前区・教育担当